令和8年11月25日発行

つなぐ！むらづくり便り

中山間地域振興に役立つ情報を新潟県からお届けします！

将来プランの策定に係る支援の事例紹介

今回は、ワークショップ等を通じて、地域住民の意見を汲み取りながら将来プランを策定した地区の事例を紹介します。

問題



将来プラン策定を検討する体制は組んだが、住民意見を置き去りにしてしまわないか心配

状況

・将来プランの策定に向けて、旧小学校区の区長会を地区の話し合いの場に位置づけ、６集落の区長、中山間直払の集落協定役員、集落支援員をメンバーとして選定
・検討区域が広範囲に及ぶため、住民の意見を汲み取ることができるが不安



対応

①共通テーマの抽出・設定　②住民との共有

・集落ごとにワークショップを開催することで、地区全体としての課題では、獣害対策や旧街道を核とする交流活動の必要性、複数集落単位では共同園芸畑の設置など、多角的な視点からの意見が提案
・交流・定住人口確保に向けては、移住者に個別ヒアリングし、メリットや課題を整理
・検討会で作成した、将来プラン案は、テーマ別に開催した研修会で周知

成功！

結果

・地区等の共通課題と対策が整理され、実行が期待される将来プランが策定
・特に、優先度が高い獣害対策については、現地研修に非農家の住民も参加することで、将来プランの内容がより浸透
・また、旧街道を核とする交流活動は、地域の魅力をＰＲする機会として有効に活用

気付き

・集落のような小規模集団で検討を重ねることで、意見交換がより活性化し、地区として必要な取組（テーマ）が明確化
・全地区共通のテーマ、複数集落の共通テーマ、農業・住民共通テーマを組合わせていくことで、その後の実践段階まで含めた参画意欲が向上

発行：新潟県農林水産部地域農政推進課中山間地域活性化推進係　TEL：025-280-5979